

6月8日 安心して暮らせる地域に ～名古屋林業土木協会富山支部～

【富山森林管理署】

令和8年6月8日、富山市大沢野(おおさわの)国有林において、名古屋林業土木協会富山支部主催の社会貢献活動を、富山森林管理署職員9名を含む総勢24名の参加により林内整備を実施しました。

富山森林管理署で管理等を行っている大沢野国有林は、山から吹き下ろす風が河川敷を伝わり、近隣の田畑に被害を及ぼさないよう防風保安林に指定されています。

他方、同地区周辺では、サルやクマ等による田畑での出没に関する目撃情報もあることから、同署では、野生動物による被害や地域住民の皆様の不安軽減を図るため、同地区国有林において、名古屋林業土木協会と協力して、雑木の除伐等による見通しの良い林内環境の確保のための森林整備活動を行いました。



林内の草刈り作業の様子

下層植生を整理することで、見通しの良い林内を確保できることから、野生動物による被害防止が期待されています。

今年で3回目の実施となりますが、防風保安林の機能を維持しながら地域住民が安心して暮らせるよう、今後も引き続き活動を実施していく考えです。



林内整備前後の様子



Before (作業前)

After (作業後)



林内整備により、明るく見通しの良い森林環境になりました。